

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第2区分
 【発行日】令和4年10月7日(2022.10.7)

【国際公開番号】WO2020/239736
 【公表番号】特表2022-531985(P2022-531985A)
 【公表日】令和4年7月12日(2022.7.12)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-126
 【出願番号】特願2021-570340(P2021-570340)
 【国際特許分類】

10

B 3 0 B 1/14(2006.01)

【F I】

B 3 0 B 1/14

【誤訳訂正書】

【提出日】令和4年8月30日(2022.8.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

20

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プレストグル機構(43)を備えたプラテンプレスであって、
 前記プレストグル機構(43)は、駆動部材(14)およびプレストグルコラム(44)を有し、前記プレストグルコラム(44)は、
 被動部材(38)と、

前記被動部材(38)に割り当てられた第1のトグルレバー(46)、および、前記被動部材(38)に割り当てられた第2のトグルレバー(48)と、を含む、プラテンプレスにおいて、前記第1のトグルレバー(46)は、第1の接触面(50)を有し、前記第2のトグルレバー(48)は、第2の接触面(52)を有し、両方のトグルレバー(46、48)は、それらの接触面(50、52)を介して互いに接触し、両方の接触面(50、52)は、凸形であり、

30

前記トグルレバー(46、48)は共に、少なくとも前記接触面(50、52)の間の転動運動を提供する可動ヒンジを形成し、

両方のトグルレバー(46、48)に作動的に連結されている繰り返し装置(64)が設けられており、前記繰り返し装置(64)は、運動の繰り返しを確保するように構成されている、ことを特徴とするプラテンプレス。

【請求項2】

前記被動部材(38)は、前記第1のトグルレバー(46)に連結されている、請求項1に記載のプラテンプレス。

40

【請求項3】

前記トグルレバー(46、48)の各々は、前記それぞれの接触面(50、52)の反対側にあるリンケージ端(54、56)を有する、請求項1または2に記載のプラテンプレス。

【請求項4】

前記繰り返し装置(64)は、前記第1のトグルレバー(46)に割り当てられた第1の繰り返し部材(66、74)、および、前記第2のトグルレバー(48)に割り当てられた第2の繰り返し部材(68、76)を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のプラテンプレス。

50

【請求項 5】

前記第 1 の繰り返し部材 (6 6、7 4) は、前記第 1 のトグルレバー (4 6) に取り付けられており、前記第 2 の繰り返し部材 (6 8、7 6) は、前記第 1 のトグルレバー (4 8) に取り付けられている、請求項 4 に記載のプラテンプレス。

【請求項 6】

前記繰り返し部材 (6 6、6 8、7 4、7 6) は、互いに噛み合う、請求項 4 または 5 に記載のプラテンプレス。

【請求項 7】

前記繰り返し部材 (6 6、6 8) は、互いに相互作用するギア状部分 (7 0、7 2) を含む、請求項 4 ~ 6 のいずれか 1 項 に記載のプラテンプレス。

10

【請求項 8】

前記繰り返し部材 (7 0、7 2) は、スロット (8 2)、および、該スロット (8 2) 中で案内されるピン (7 8) を含む、請求項 4 ~ 7 のいずれか 1 項 に記載のプラテンプレス。

【請求項 9】

前記繰り返し装置 (6 4) は、少なくとも 1 つの S 形の繰り返し部材 (8 8、9 0) を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項 に記載のプラテンプレス。

【請求項 10】

前記第 1 のトグルレバー (4 6) に割り当てられた第 1 の構造 (5 8)、および、前記第 2 のトグルレバー (4 8) に割り当てられた第 2 の構造 (5 8) が、設けられており、前記 1 の構造 (5 8) は、ベース構造であり、前記 2 の構造 (5 8) は、可動構造である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項 に記載のプラテンプレス。

20

【請求項 11】

繰り返し構成要素 (8 4、8 6) が、前記第 1 の構造 (5 8) と前記第 1 のトグルレバー (4 6) の間のインターフェースに割り当てられており、および / または、繰り返し構成要素 (8 4、8 6) が、前記第 2 の構造 (5 8) と前記第 2 のトグルレバー (4 8) の間のインターフェースに割り当てられており、前記繰り返し構成要素 (8 4、8 6) は、前記プレストグル機構の運動の繰り返しを確保するように構成されている、請求項 10 に記載のプラテンプレス。

【請求項 12】

前記繰り返し構成要素 (8 4、8 6) は、互いに相互作用するギア状部分 (7 0、7 2)、および / または、スロット (8 2)、および、該スロット (8 2) 中で案内されるピン (7 8) を含み、特に、前記ピン (7 8) は、ローラによって確立されている、請求項 11 に記載のプラテンプレス。

30

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 6】

さらに別の実施形態では、両方のトグルレバーに作動的に連結されている繰り返し装置が、設けられている。繰り返し装置は、プレストグル機構、特にプレストグルコラム、好ましくはそのトグルレバーの運動の繰り返しを確保するように構成されている。繰り返し装置は、プレストグルコラムの長く続く機能を確保する補助機構に対応している。

40

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

50

特に、繰り返し装置は、両方のトグルレバーの運動範囲を制限するように構成されている。したがって、繰り返し装置は、トグルレバーが互いに接触を失わないように、トグルレバーが或る範囲に維持されることを確保する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

一実施形態では、プレストグルコラムの繰り返し装置は、少なくとも、第1のトグルレバーに割り当てられた第1の繰り返し部材、および、第2のトグルレバーに割り当てられた第2の繰り返し部材を含む。かくして、繰り返し装置は、トグルレバーに割り当てられた2つの別個に形成された部品を含む。それ故、各トグルレバーは、その他のトグルレバーの対応する1つと相互作用するその自身の繰り返し部材を有する。

10

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

特に、第1の繰り返し部材は、第1のトグルレバーに取り付けられており、第2の繰り返し部材は、第2のトグルレバーに取り付けられている。これは、繰り返し装置、特にその繰り返し部材の設置および保守を容易にする。さらに、トグルレバーが、繰り返し部材にしっかりと取り付けられることを確保する。

20

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

さらに別の実施形態では、繰り返し部材は、互いに噛み合う。その結果、しっかりした関節連結運動が確保されることができる。

30

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0031

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0031】

一実施形態では、繰り返し部材は、互いに相互作用するギア状部分を含む。互いに噛み合うギア状部分のいくつかの歯により、トグルレバーの接触面の滑りが、効果的に防止されることができる。

40

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

もう1つの実施形態では、繰り返し部材は、スロット、および、該スロット中で案内されるピンを含むことができ、特に、ピンは、ローラによって確立されている。スロット、および、該スロット中で案内されるピンは、トグルレバーの凸形接触面の滑りを防止する

50

。実際、スロットおよびピンは、カム機構に対応している。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

随意には、繰り返し装置は、少なくとも1つのS形の繰り返し部材を含む。前記少なくとも1つのS形の繰り返し部材は、同時に両方のトグルレバーに作動的に連結されることができる。特に、2つのS形の繰り返し部材が、両方のトグルレバーに作動的に、しかし逆に（ミラー反転的に）連結されて設けられている。 10

【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

実際、前記少なくとも1つのS形の繰り返し部材は、S状に形成されたプレートによって確立されている。 20

【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

それ故、トグルレバーは、S形の繰り返し部材の少なくとも部分的に円形形状の受け入れスペースに割り当てられている。 20

【誤訳訂正 12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

一般的に、S形の繰り返し部材は、それぞれのトグルレバーの突出する部分と相互作用することができ、それによって、同時に両方のトグルレバーと作動的に連結する。前記突出する部分は、横方向に突出することができる。 30

【誤訳訂正 13】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

一般的に、繰り返し装置は、プレストグルコラムの異なる側に異なって形成された繰り返し部材を含むことができる。 40

【誤訳訂正 14】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0054

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0054】

さらに別の実施形態では、繰り返し構成要素が、第 1 の構造と第 1 のトグルレバーの間のインターフェースに割り当てられており、および/または、繰り返し構成要素が、第 2 の構造と第 2 のトグルレバーの間のインターフェースに割り当てられている。繰り返し構成要素は、プレストグル機構の運動の繰り返し、特に、対応する構造に対するそれぞれのレバーの運動の繰り返しを確保するように構成されている。例えば、繰り返し構成要素および繰り返し部材は、同様な仕方で形成されている。それ故、繰り返し部材に関する上記の利点は、同様な仕方で繰り返し構成要素にも当てはまる。

【誤訳訂正 1 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 5

10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 5】

特に、繰り返し構成要素は、互いに相互作用するギア状部分、および/または、スロット、および、該スロット中で案内されるピンを含み、特に、前記ピンは、ローラによって確立されている。互いに噛み合う歯、スロット、および、該スロット中で案内されるピンにより、トグルレバーの接触する凸形端の滑りが効果的に防止されることができる。ピンがローラによって確立されているときに、ピンは、スロットの縁に沿って転動することができ、プレストグル機構の全体的な転動運動を改善する。

【誤訳訂正 1 6】

20

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 7】

【図 1】技術状態によるプレストグル機構の側面図を示している。

【図 2】プレストグルコラムを含む本発明によるプラテンプレスで使用されるプレストグル機構の概略側面図を示している。

【図 3】第 1 の例による繰り返し装置に関する実施形態によるプレストグルコラムに関する 2 つの図を概略的に示している。

30

【図 4】第 2 の例による繰り返し装置に関するもう 1 つの実施形態によるプレストグルコラムに関する 2 つの図を概略的に示している。

【図 5】本発明によるプラテンプレスで使用されるプレストグル機構の詳細を示している。

【図 6】第 3 の例による繰り返し装置のもう 1 つの実施形態によるプラテンプレスのプレストグルコラムに関する斜視図を示している。

【図 7】第 3 の例による繰り返し装置に関する詳細図を示している。

【誤訳訂正 1 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 0

40

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 0】

運動の繰り返しを確保し、水平方向の力を伝達するために、両方のトグルレバー 4 6、4 8 に作動的に連結されている繰り返し装置 6 4 (図 3 および図 4 参照) が、設けられている。

【誤訳訂正 1 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 1

【訂正方法】変更

50

【訂正の内容】

【0091】

繰り返し装置 64 は、第1のトグルレバー 46（例えば、下側トグルレバー 46）に割り当てられた少なくとも1つの第1の繰り返し部材 66、74、および、第2のトグルレバー 48（例えば、上側トグルレバー 48）に割り当てられて少なくとも1つの第2の繰り返し部材 68、76を含む。

【誤訳訂正 19】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0092

【訂正方法】変更

10

【訂正の内容】

【0092】

特に、繰り返し部材 66、68、74、76は、それぞれのトグルレバー 46、48に、例えば、機械的に、特にねじによって、または、接着(bonding)のような他の固定技術で取り付けられている

【誤訳訂正 20】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0093

【訂正方法】変更

20

【訂正の内容】

【0093】

図3および図4は、プレストグル機構 43、または、むしろプレストグルコラム 44によって使用される繰り返し装置 64に関する2つの異なる実施形態を示している。

【誤訳訂正 21】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0094

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0094】

図3には、ギア状部材 70、72を備えた第1の繰り返し部材 66および第2の繰り返し部材 68を含む繰り返し装置 64に関する2つの図が、示されている。

30

【誤訳訂正 22】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0095

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0095】

繰り返し部材 66、68は、y-軸線上で被動部材 38と平行に配置されており、それぞれのトグルレバー 46、48の側部に取り付けられている。図3の第2の図を参照されたい。x-軸線は、駆動部材 14または被動部材 38の回転軸線と平行である線を代表する実質的に水平なy-軸線と直交的に横方向である。

40

【誤訳訂正 23】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0097

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0097】

繰り返し装置 64の繰り返し部材 66、68のギア状部分 70、72は、互いに対面しており、ギア状部分 70、72は、互いに噛み合う仕方で配置されている。

【誤訳訂正 24】

50

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0099

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0099】

図4は、トグルレバー46、48割り当てられた第1の繰返し部材74および第2の繰返し部材76を含む繰返し装置64の第2の実施形態を示している。

【誤訳訂正25】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0100

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0100】

第1および第2の繰返し部材74、76もまた、y-軸線上で被動部材38と平行に配置されており、繰返しを部材74、76が互いに噛み合うようにそれぞれのトグルレバー46、48の一方の側に取り付けられている。

【誤訳訂正26】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0101

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0101】

さらに、接触面50、52が各々、単一のトグルレバー46、48に割り当てられた2つの繰返し部材74、76の間に中心決めされるように、第1および第2の繰返し部材74、76をトグルレバー46、48の接触面50、52に対して両側に取り付けることを考えることができる。

【誤訳訂正27】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0102

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0102】

換言すると、各トグルレバー46、48は、特に同じ種類の、またはむしろ異なる種類の2つの繰返し部材74、76を含むことができ、その結果、トグルコラム44、すなわちトグルレバー46、48は、全部で4つの繰返し部材74、76を有する。

【誤訳訂正28】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0103

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0103】

示されている実施形態では、第1の繰返し部材74は、ピン78を含み、第2の繰返し部材76は、スロット82を備えた案内プレート80を含む。

【誤訳訂正29】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

一般的に、繰返し装置64は、トグルレバー46、48の相対運動が制限されること

10

20

30

40

50

を確保する。

【誤訳訂正 30】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0107

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0107】

そのような仕方で、上記の繰り返し装置 64の1つまたはそれ以上は、概略的な仕方で図5でもわかるように、それぞれのトグルレバー46、48のリンクージ端54、56およびそれぞれの構造58によって提供されるヒンジに配置されることができる。

10

【誤訳訂正 31】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0108

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0108】

図5では、第1の繰り返し構成要素 84が、y-軸線上で被動部材38と平行に配置されており、それぞれのトグルレバー46、48の一方の側、すなわち、それぞれのトグルレバー46、48のリンクージ端54、56に取り付けられている。

20

【誤訳訂正 32】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0109

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0109】

さらに、第2の繰り返し構成要素 86が、配置され、構造58に取り付けられており、それぞれの繰り返し構成要素 84、86は、互いに噛み合っている

【誤訳訂正 33】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0110

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0110】

本実施形態では、繰り返し構成要素 84、86は、図4に示されている繰り返し部材 74、76と実質的に同様に形成されている。

30

【誤訳訂正 34】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0111

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0111】

もう1つの実施形態では、繰り返し構成要素 84、86はまた、図3に示されているギア状部分70、72を備えた繰り返し部材 66、68と実質的に同様に形成されている。

40

【誤訳訂正 35】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0114

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0114】

図6は、繰り返し装置 64の第3の実施形態を使用したプレストグルコラム44のさら

50

に別の実施形態を示している。

【誤訳訂正 36】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0122

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0122】

図6に示されているように、それぞれの相互作用する突出する部分36a'、36b'は、繰り返し装置64に割り当てられている。

【誤訳訂正 37】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0123

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0123】

この実施形態では、繰り返し装置64は、y-軸線方向に沿って互いに背後に配置されているいくつかのS形の繰り返し部材88、90を含む。

【誤訳訂正 38】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0124

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0124】

図7では、繰り返し部材88、90のS形は、繰り返し部材88、90の特定の形状が見えるように、下側の突出する部分36b'が示されていないので、より明らかになる。

【誤訳訂正 39】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0125

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0125】

示されている実施形態では、2つのS形の繰り返し部材88、90が、同じ突出する部分36a'、36b'に設けられている。かくして、S形繰り返し部材88、90は、同時に両方のトグルレバー46、48に作動的に連結されているが、互いに対して逆に配向されている。

【誤訳訂正 40】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0126

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0126】

繰り返し装置64の上記の実施形態とは対照的に、繰り返し部材88、90は各々、両方のトグルレバー46、48に取り付けられるか、或いは、1つのトグルレバー46、48と割り当てられた構造58a、58bの両方に取り付けられている。

【誤訳訂正 41】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0127

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0127】

10

20

30

40

50

繰り返し可能性部材 88、90 の各々は、例えばねじのような留め具部材で、第 1 のトグルレバー 46 に割り当てられた例えば突出する部分 36 a' にしっかりと連結されている。次いで、同じ繰り返し部材 88 は、接触面 50、52 の間で、円形円筒形の突出する部分 36 a' に沿って半円形状にさらに延びており、第 1 の取り付け点の下方に（本質的に）垂直に同じ繰り返し部材 88 が取り付けられている第 2 のトグルレバー 48 のその他の円形円筒形の突出する部分 36 b' に沿って半円形状にさらに延びている。かくして、繰り返し部材 88 の S 形状が得られる。

【誤訳訂正 42】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0128

10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0128】

別の仕方で、S 形の繰り返し部材 88、90 は各々、突出する部分 36 a'、36 b' が挿入される 2 つの半円形受け入れスペースを含む。

【誤訳訂正 43】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0129

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

20

【0129】

その他の繰り返し部材 90 も、同じ仕方でトグルレバー 46、48 の両方の突出する部分 36 a'、36 b' に、しかしミラー反転状に、またはむしろ逆に取り付けられている。

【誤訳訂正 44】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0130

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0130】

繰り返し部材 88、90 の曲げ堅さにより、鉛直方向に振動するトグルレバー 46、48 の（実質的に）水平方向の変位力および回転力は、吸収されることができ、かくして運動の繰り返しを確保する。

【誤訳訂正 45】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0131

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0131】

一般的に、および、すでに上述したように、（図 6 に示されていない）繰り返しを構成要素は、突出する部分 32' 60' の間で、またはむしろ突出する部分 34'、62' の間で相互作用しながら、繰り返し部材 88、90 に対して同様に形成されて設けられることができる。

【誤訳訂正 46】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0132

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0132】

突出する部分 32'、34'、36 a'、36 b'、60'、62' の各々に、円周方向に閉じられている凹部 92 が設けられており、これらの円周方向に閉じられている凹部 92 に

50

、繰り返しを部材 8 8、9 0、またはむしろ繰り返し構成要素の少なくとも一部が受け入れられている。

【誤訳訂正 4 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 3】

その結果、トグルレバー 4 6、4 8 の間の圧縮力は、繰り返し部材 8 8、9 0、および / または、繰り返し構成要素を介して伝達されるだけでなく、追加的にまたは排他的に接触面 5 0、5 2 を介して伝達される。 10

【誤訳訂正 4 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 4】

もちろん、突出する部分 3 2'、3 4'、3 6 a'、3 6 b'、6 0'、6 2' ~~毎~~ 繰り返し部材 8 8、9 0 の代わりに、1 つだけの繰り返し部材または 3 つ以上の繰り返し部材が、設けられることができる。 20

【誤訳訂正 4 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 5】

一般的に、上記の異なる実施形態は、互いに組み合わせて使用されることができる。それ故、繰り返し装置 6 4に関する異なる実施形態は、それぞれ、組み合わされることができる。

【誤訳訂正 5 0】 30

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 6】

例えば、単一の繰り返し装置 6 4が、互いにかみ合う繰り返し部材 6 6 - 7 6を含むことができ、追加的に、スロット 8 2、および、スロット 8 2 中で案内されるピン 7 8 を含むことができる。さらに、単一の繰り返し装置 6 4は、プレストグルコラム 4 4 の他方の側で互いにかみ合う繰り返し部材 6 6 - 7 6と組み合わされてプレストグルコラム 4 4 の一方の側に 1 つの S 形の繰り返し部材 8 8を含むことができる。 40

【誤訳訂正 5 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 7】

同様な仕方で、プレストグル機構はまた、第 1 の構造および第 2 の構造、またはむしろそれぞれのインターフェース、すなわち、第 1 の構造と第 1 のトグルレバーの間のインターフェース、またはむしろ第 2 の構造と第 2 のトグルレバーの間のインターフェースと関連している異なって形成された繰り返し構成要素 8 4、8 6を含むことができる。 50